

第九回世界俳句協会日本総会報告

古田 嘉彦

二〇一四年四月二十九日、第九回世界俳句協会日本総会が東京で開かれた。冒頭、スペイン語俳句を本協会翻訳スタッフ大楠栄三が朗読する動画の映写をイントロとして始まる。

夏石番矢理事長の日・英・仏の三言語挨拶に引き続き、毎年出版されている『世界俳句』の発行報告があった。同出版は今年第10号刊行となったが、四〇ヶ国一八八人の俳句の多言語アンソロジー、五本の俳論が、日本語と英語を基軸に多言語で掲載されている。俳句は今回、ポーランド語、タガログ語が加わった。

本協会は隔年で世界俳句大会を開いているが、昨年はコロンビアのメデジンで第七回大会が行われ、スペイン語圏でも俳句を楽しんで創作している手ごたえを得た。第八回大会は来年東京にて開催予定で、この総会では委員会立ち上げが公表された。

続いて、昨年在リトアニア日本大使館主催、世界俳句協会後援で行われた第三回日本・リトアニア俳句コンテストの結果が報告され、日本語部門最優秀作品受賞者は、今年二月にバンコクで亡くなった藍原弘和（Hirokazu Aihara）で、しばし彼を偲んだ。また昨年第一回が行われ国内外の評価が高かったメデジン市俳句コンテストは、本協会も主催者の一つとなり、今年第二回が行われ、積極的な応募が呼びかけられた。

会計報告、今年九月中旬にベトナム・ハノイ市で開催予定の俳句イベントの紹介に続き、『世界俳句2015 第11号』についても、既に約九〇名から作品が送られてきているが、人数を二〇〇名に限定したいとの方針が提案された。その後、協会の今後の運営方針及び各会員の充実した活動についての報告があった。

総会に引き続いて行われた第三回世界俳句セミナーも、内容豊かで、前半

は俳論や句集を論評。鎌倉佐弓が長嶺千晶『今も沖には未来あり』（本阿弥書店、二〇一三年）を、土谷直人（夏石代読）が S・ドゥルミシェヴィッチ句集『薔薇のかおり』（Zenica、二〇一三年）を、堀田季何が英語俳句アンソロジー『Haiku in English』（Norton、二〇一三年）を、石倉秀樹が『中国漢俳百家詩選』（綾装書局、二〇一三年）を担当。鎌倉佐弓三言語句集『七つの夕日』（Cyberwit.net、二〇一三年）、夏石番矢の三句集『ブラックカード』（Cyberwit.net、二〇一三年）と日仏二言語句集『未来の滝』（L'Harmattan、二〇一四年）は、著者自身がコメント。

ボスニアは／人、石そして夢の国／神の前兆

S・ドゥルミシェヴィッチ（ボスニア・ヘルツェゴビナ）

山脈に雷一／母の愛の／鉄

ジャック・ケルアック（米国）

「翠柳」

李芒（中国）

翠柳撫吾肩，／篤睦荆妻話宿縁，／相偕憶少年。

鯨まで七つの夕日と六つの岬

鎌倉佐弓

泥の壁電気が不眠にさせる村

夏石番矢

後半は『世界俳句二〇一四 第10号』（七月堂、二〇一四年）の俳句合評。石倉秀樹、そねだゆ、橋本遊行、山岸竜治、夏石番矢によるコメントを契機に、各国俳句の特徴が論じられた。

駅で荒々しい風見つめる／さびれた国／黒い純血のアラブ馬

ジェイコブ＝コビナ・アイアー・メンサー（ガーナ）

あわれな泥棒／俳句と／蛙を忘れた

ディエンテ・デ・レオン（コロンビア）

どの藁どの火からか地球は灰だらけ

レー・ティビン（ベトナム）

独り歩き出す虹の一色

野谷真治

植民地直線道路強寒風

山本一太郎

舟釣り／かぐわしい不老の／藪から藪へ

ボジェーナ・ゼルネッチ（クロアチア）

更に、今回セルビア俳句史が俳論に掲載されたが、世界をカバーする俳句のレトリック史や各国俳句史の編纂の提案があった。現在も海外での日本の俳句についての認識は江戸俳諧にとどまり、他方で、日本人には違和感のある俳句論、俳句史が海外で流布されているなど、日本からの発信が少なすぎることによる憂慮すべき現状についての発言もあった。

その後、内モンゴル出身のウルグンによる馬頭琴伴奏で、参加者による俳句朗読を楽しみ、コロンビア出身のカタリーナ・トミヤがスペイン語俳句朗読で花を添えた。

耳に石の独白	そねだ ゆ
西天輝太白。花風渡海普郷國，梅櫻堪對酌。	石倉秀樹
ピラカンサが 消えやすい猫の集合場所	古田嘉彦
三分おきにどじょうは空をみる	梅澤鳳舞
春を待つツタンカーメン吾が死後も	渡辺しゅういち
翺雲たったひとりのカフェテラス	はしもと ふみ
高架下に潜り込んで花びらの上に花びら	梶原由紀
望遠のレンズの奥の花の息	大里満紀
熱帯の眠りの底の果実かな	山本一太郎
神の木々から降る雪は花嫁衣裳の白い色	中塚唯人
とんぼとんぼ水辺の扉あけてゆく	橋本遊行
ホースから水が生まれ土が生まれる	鎌倉佐弓
すなあらし私の頭は無数の斜面	夏石番矢
神が踊らないなら／悲しみ／眠りをさまたげる	

オマール・ダリオ・ガッジョ・キンテロ（コロンビア）